

入間川地区中学校統廃合検討協議会第3回会議録

- ・開催日時 平成23年8月4日（木） 午後7時～午後8時30分
- ・開催場所 狭山市役所6階602・603会議室
- ・出席者 17名（欠席者3名）
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 3名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）統廃合の具体的な検討について

（事務局） ——— 配付資料説明（略） ———

（委員）沢地区では、新狭山小に通った後は東中に通うのですが、入間川地区センターが主催する地区の運動会では、知っている子どもたちはほとんどいません。子どもたちの切磋琢磨の面からは良いのかもしれませんが、地区センターの考え方からすると、いろいろな地区から集めて児童生徒を確保する形もどうなのかなと…。シミュレーションを行う際には、地区との関係を加味する必要があると思います。

（事務局）今回は各校とも四つのパターンで作らせていただきましたが、他にもいろいろなパターンが考えられると思います。地区との関係性は非常に大事だと思っておりますので、そういった視点で今後皆様にはご検討いただければと考えております。

（委員）学校は災害の拠点でもありますので、そのあたりも留意してもらえ

ればと思います。

(委 員) 地理的に見れば、入間川中はそのままにして、東中か中央中のどちらかをという意見が以前ありましたが、それについては賛成です。

個人的には老朽化した東中を建て替えてもらいたいと思っています。例えば、7 億で耐震補強工事をして 15 年位持ったとして、22 億で 60 年持つのであれば、建て替えた方がいいと思いますし、災害拠点として現在のニーズに合ったモデル校的な学校を建てるという考え方もあるかと思います。中央中の校舎も 30 年位経っていますから、あと 30 年位しか持たないというところがありますし、地域の施設としていろいろと活用はできると思います。もともとは東中がマンモス化して入りきれなくなって入間川中、中央中に分かれたわけですから、元に戻るということで角も立たないのではないかと思います。東中は、普通教室が現在入っている校舎は使いつつ、主に特別教室が入っている古い校舎を建て替えるということもできると思います。3 校の中では東中が一番敷地の面積が広いということもあり、ぜひ末永く使ってもらいたいと思っています。

(事務局) それは東中と中央中を一つにするということですか。

(委 員) そうですね。

(事務局) その場合は、12～18 学級の適正規模を超えてしまうと思われます。

(委 員) それであれば、適正規模になるように通学区を編成し直していただければいいのではないのでしょうか。

はっきり言わせていただければ、東中は建て替えてもらって残してもらい、中央中を廃止にしてほしいというのが私の意見です。

(委 員) 例えば、田中や峰あたりは、すぐ近くに東中があるのに、入間川中に行ってくれみたいな話になったら、これもかなり大変なことだと思いますね。

(委 員) 統合で切り替えるときは、3 学年あるから 3 年かけて随時移ってもらうことになるのですか。

(事務局) いいえ、例えば 3 年生だけの学校などは学校運営上問題がありますので、統合する年でいっぺんに動いてもらうことになります。

(委員) ランニングコストの件ですが、1 校学校がなくなると 3,700 万円くらい浮くということですか。

(事務局) 子どもの数が増えれば光熱水費等は若干増えますが、大体そういった理解でよろしいかと思います。

(委員) 先生などが減ることによる人件費はどの程度ですか。

(事務局) 確実な数字ではありませんが、あるサイトでは、中学校教諭の平均年収はおおよそ 880 万円などといった情報が出ていました。先生が 10 人減れば 8,000 万円程度減る計算になります。

(委員) それは市費ではなく県費ですよ。

(事務局) はい、先生は県の職員ですから、市の予算に出てくるものではありません。

(委員) 第 3 次狭山市総合振興計画のなかには、入間川・沢地区の整備が載っています。これは中央中から東中にかけてということでもよろしいかと思います。東中もしくは中央中を残すシミュレーションをしてきましたが、何年か先に居住区が形成された場合、また通学路を変更せざるをえないことも考えられますので、個人的には東中を建て替えてもらいたいとは思っています。学区に関しては、自治会単位、地域コミュニティや災害の拠点などといった要素をすべて加味したうえで検討する必要があると思います。

(委員) 目の前に学校があるのに遠くの中学に行くというのは、感情論としては理解されないですよ。

(事務局) 通学区域の視点としては、飛び地などではなく、ある程度固まった形になった方がいいと考えています。

東中の建て替えの件につきましては、やはり老朽化が進んでおりますので御意見としては十分に理解できます。ただ、基本方針には既存

施設を活用すると明記されておりますので、その点は皆様にご承知おきいただければと思っております。

(委員) この会議では、統廃合する学校まで決めるのですか。どのあたりまでを決めるのですか。

(事務局) 統廃合の対象校は決めていただきたいと考えております。

学校の新築の話が出ましたが、それと関連して、狭山市の財政や予算に関する資料を次回出ささせていただければと考えております。市の公共施設につきましては、学校のみならず全般的に古くなってきております。新しく建て直すとの意見は理解できますが、すべての施設を新しくするには、長い時間と莫大な費用が必要となります。やはり、現在の市の財政状況を皆様に理解していただきたいというところがあります。

(委員) 既存施設を活用するのであれば、東中は年数が経っていますので、中央中を残すしかないのかなとは思っているのですが、基本方針というのは変わらないのですか。

(事務局) 基本目的は学校規模の適正化でありますので、老朽化や建て替えの問題はまた別の次元での検討課題だと考えております。基本方針では既存施設の活用を謳っておりますので、まずはその方針に則って検討を進めていただければと考えております。そのうえで建て替えが必要ということであれば、その時点で論議をしていただければと思っております。

(委員) 計画提言に至るまでの検討課題がいくつか挙げられていますが、それぞれいつ頃までには決めてほしいというのはあるのですか。

(事務局) 基本的には、いついつまでに決めてくださいといったことは事務局としては考えておりません。ただ、希望としては平成24年あたりをめどに提言を出していただき、その後は1年間くらいかけて受け入れ先の学校の整備などを行ったうえで、統合につなげられればとは考えております。

(事務局) 小学校の統廃合では、論議を始めて1年以内には統廃合の対象校の

絞り込みをしていただいております。本会議におきましても、対象校の絞り込みにつきましては、今年の秋口をめどに結論を出していただければありがたいと思っております。

(委員) でも、校舎の建設年や耐震補強工事、冷暖房工事の状況を見れば、もう東中しかないですよ。もし、これで東中を残すようなことになったら、行財政改革に逆行することになりますよ。そんな話通らないですよ。学校を建て替えた方がいいなんて、できるのであれば、そりゃ誰だってそう思いますよ。できないことをいつまでも論議したってしょうがないですよ。

(委員) ある程度の叩き台を出してもらって討論した方がいいと思います。そうじゃないと決まらないと思いますよ。東中を好きな人は東中を、中央中を好きな人は中央中を残してもらいたいというのはありますから…。建て替えの話も出ましたが、建て替えるだけの予算があるのかないのか、そこのところをはっきりさせておかないと、何回会議やっただって決まらないと思いますよ。

(委員) 中学校の先生方やPTAの役員の方は、帰属意識が強いから自分の学校を大切にしたいのは当たり前ですよ。自分の学校を廃校にすればいいなんて、そんなこと普通言えないですよ。

(議長) 基本方針に則って、既存の施設を活用するという点をおさえておかないと、なかなか進まないですよ。新しい学校を造ることは皆が望んでいることだとは思いますが…。やはり、あくまでも基本方針に沿って進めていかないと、なかなか流れが決まっていけないと思います。

(委員) ちなみに、中央中ができる前の学区の割り当てみたいな資料はありますか。

(事務局) はい、次回までに用意したいと思います。

(委員) 東中の廃止のシミュレーションのなかで中央中の教室数が足りなくなるケースがあり、1学年に1教室は余裕教室が必要との話もありましたが、そういったケースではどういった対応をするのでしょうか。例えば、プレハブを建てるのか、建てるとしたらグラウンド内に建てる

のかとか。それと、野球部やサッカー部など、グラウンドが十分に確保できるのかという課題もあると思います。例えば18クラスになった時、生徒数が増えて部活が増えたりした場合、現状のグラウンドの大きさに間に合うのかということも加味する必要があると思います。対象校を決める際には、建物やグラウンドなどすべてを総括して考える必要があると思います。

(事務局) グラウンドの面積などの資料も用意したいと思います。

(2) その他

(次回会議日程)

平成23年9月22日(木) 午後7時～

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第2回会議録
- ◆ 中学校統廃合検討協議会の提言までの進め方
- ◆ 学校のランニングコスト資料
- ◆ 入間川地区の中学校の統廃合シミュレーション

【別図】シミュレーション毎の通学区域図